

1 自己評価

Ⅰ 評価結果 確かな学力の定着【B・A】 キャリア教育の充実【A・B】 安全で安心な教育環境づくり【B・A】

A: 当初の見込みを越える取組を行うことができ、目標を上回る達成状況である。 B: 当初の見込みを越える取組を行うことができ、ほぼ目標どおりの達成状況である。

Ⅱ 分析・改善方策

1 確かな学力の定着

(1) 通信制課程における個別最適な学びと協働的な学びを進め、スクーリングとレポート添削指導を進化させる。

- ・教員各位が研究し、多くの科目で授業実践及び情報共有が行われた。学校自己評価アンケート（以下、「アンケート」という。）「指導や評価について教員間で検討の機会がある」80%（R5 85%）の教員が「当てはまる」と回答している。
- ・生徒が状況に応じて利用できるよう、放送視聴制度や協力校面接を計画し、機関紙や掲示物などで周知した。
- ・アンケート(生徒)の肯定回答「学習したことが身に付く」94%（R5 94%）、「自ら学び自ら考える姿勢が身に付いた」89%（R5 88%）、「学習の進め方がわかりやすく示されている」95%（R5 97%）、「添削指導はわかりやすい」89%（R5 85%）、「郵送物や掲示物等の情報提供は適切」は97%（R5 98%）といずれも高評価を維持している。

(2) 生徒会活動や特別活動等において主体的な活動を推進する。

- ・生徒会活動では執行部を中心に、文化祭等の行事の準備及び当日の運営を計画的に行うことができた。また、来年度の運営についても、生徒会、生徒課で検討し、よりよい学校行事の実施に向けて準備を進めることができています。
- ・アンケート(生徒)の肯定回答「生徒は学校行事に積極的に活動」は92%（R5 88%）、「私は学校行事に積極的に参加」では71%（R5 58%）だった。後者の数値が改善しており、工夫改善を今後も加えていく。
- ・各期はじめに、Google アカウントの登録サポート期間を設け、登録支援した。生徒が自分の端末で学習の進捗を確認できるシステムが、浸透しつつある。アンケート(生徒)の肯定回答「クラスルームは学習を進めるのに役立っている」82%（R5 未実施）。
- ・文化祭、わくわくレクをはじめとした特別活動に多くの生徒が参加し、参加者同士の交流を図ることができた。

2 キャリア教育の充実

(1) 外部機関と連携して、生徒の状況や希望に応じた伴走型の進路支援を行う。

- ・外部機関と連携し、サポステ・オフィスfukureによる講演、卒業生による進路講演などを実施した。日曜校内サポステを目指し、サポステ職員による生徒面談を本格実施した。面談を希望する生徒も多く、就労につながる第一歩となった。
- ・担任による生徒面談を実施した。支援を申し出ることができない生徒に対応するために、ICTの活用を進めた。
- ・社会的・職業的自立に向けての指導の在り方について教員研修を実施し、進路指導の心構えを学んだ。

(2) 「キャリアサポート」や「進路の手引」を有効に活用する。

- ・進路指導を必要とした全ての生徒への支援を検討・共有し、生徒が自ら動きだすよう働きかけることができた。
- ・キャリアサポートを生徒との面談のきっかけとし、進路に向けて生徒が動き出す好循環を生み出すことができた。
- ・アンケート(生徒)の肯定回答「進路決定に必要な情報提供」は86%（R5 80%）だった。進路情報は生徒に届いている。

3 安全で安心な教育環境づくり

(1) SC、SSW、関係機関、中学校等との連携を深め、気になる生徒の早期発見と早期対応を行う。

自他ともに尊重する意識が向上するよう、特別活動の充実を図る。

- ・今年度受講生の情報の収集、整理・保管、共有を行い、支援に活用できる体制を整備できた。
- ・SC・SSW 同席のもと、定期的にケース会議を実施した。外部機関の情報など、有益な助言をいただいた。

(2) ホームページや機関紙『操山通信』、学校説明会の充実を図る。通信教育実施計画等を適切に公開する。

- ・アンケート(生徒)の肯定回答「HPは学校生活に役立つ」は90%（R5 93%）、生徒に必要な情報が届くよう工夫したい。
- ・機関紙「操山通信」は、生徒への確実な連絡ツールである。生徒対象の調査では、「操山通信」を読んでいる生徒は92%（R5 83%）、役に立つは100%だった。興味のないところは読まないという回答もあり、今後も改善が必要である。
- ・学校説明会はGoogle フォームを活用した事前予約制に変更し、安全安心で落ち着いた環境で実施することができた。昨年制作した学校紹介動画はホームページで提供し、通信制の教育システムを説明するとともに、スクーリングの様子が分かるようにしている。来年度も一層ホームページの充実を図るなど、情報公開・情報発信に努めたい。

2 学校関係者評価委員会

坂入信也（岡山大学教育推進機構教授） 劉 耕助（株式会社ベネッセコーポレーション中四国支社学校事業責任者）
渡部義仁（株式会社太陽堂代表取締役） 黒崎直美（全日制 PTA 副会長） 東出麻子（全日制 PTA 副会長）

3 学校関係者評価

- ・多様な学びを提供する学校が増加している。選ばれる特色のある学校を検討するとよい。
- ・クラスあたりの生徒数が多くきめ細かな対応ができない学校が増加している。一人一人に対応できる公立高校は望ましい教育を行っているのではないかな。
- ・ICT活用場面の拡大がみられるが、対面の場面が減らないように工夫するとよい。
- ・生徒・保護者・入学希望者など毎に必要な情報は違うため、どこに情報があるかを整理し、示すとよい。

4 来年度の重点取組（学校評価を踏まえた今後の方向性）

○確かな学力の定着 ○キャリア教育の充実 ○安全で安心な学びの場づくり

令和6年度 学校自己評価アンケート（生徒）

学校評価アンケート結果

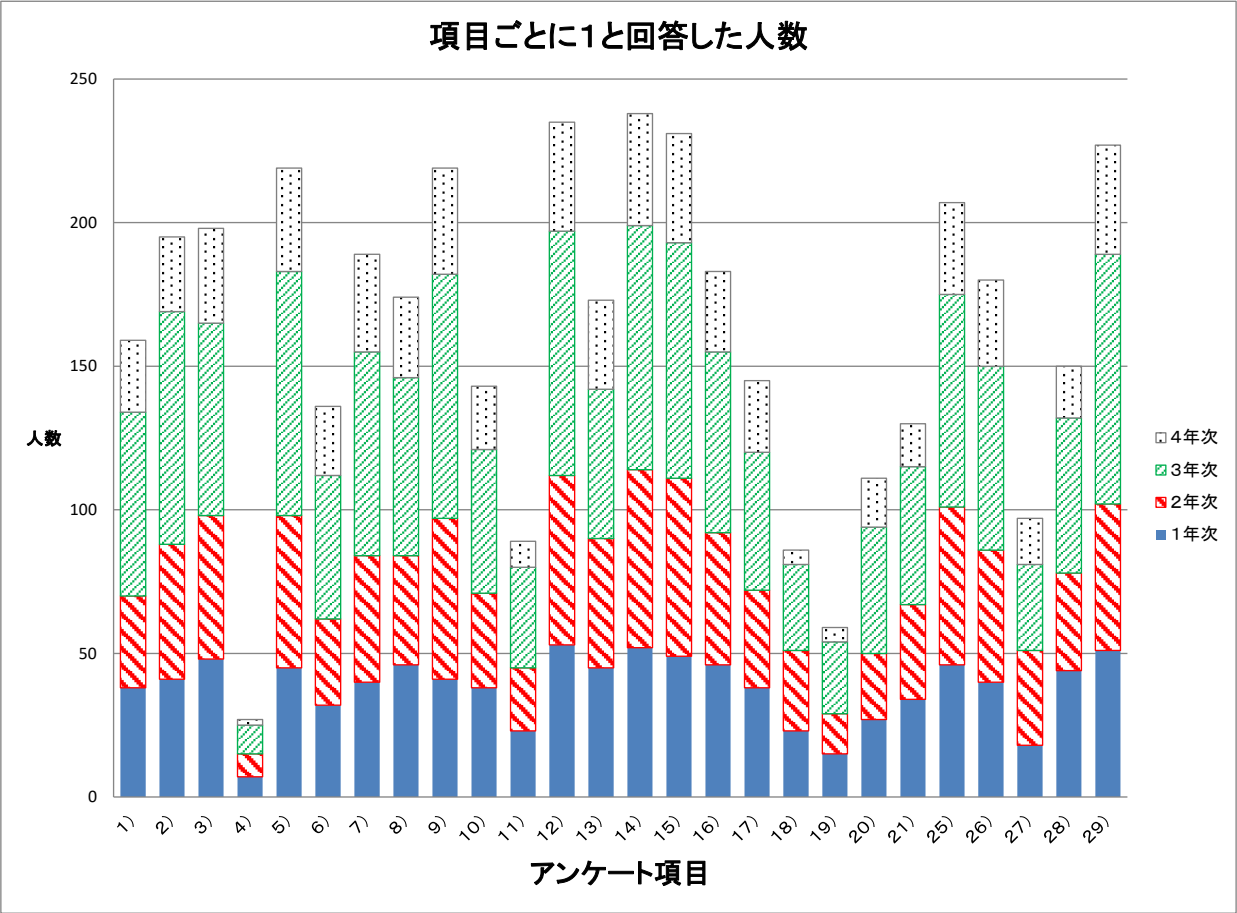
集計人数 全体数(329) 1年次(70) 2年次(96) 3年次(111) 4年次(52)

（生徒） R7.1実施

1：当てはまる 2：やや当てはまる 3：あまり当てはまらない 4：当てはまらない

数字は1と回答した実人数。

項目	アンケートの内容	1年次	2年次	3年次	4年次	全体比 (%)
1)	通信制での学習によって、自ら学び自ら考える姿勢が身についた。	38	32	64	25	48.3%
2)	学習に対する自分の努力は正しく評価されている。	41	47	81	26	59.3%
3)	スクーリングに出席すると、大切な点がよく分かり自分の学習の助けになる。	48	50	67	33	60.2%
4)	放送視聴について NHK高校講座を視聴して、自分の学習を進めるうえで、有効な手段であった。	7	8	10	2	8.2%
5)	通信制課程でのスクーリングの受け方・レポートの提出方法等の学習の進め方が分かりやすく示されている。	45	53	85	36	66.6%
6)	添削指導は分かりやすくされているので、それを読めば自分一人では理解できなかった点もよく理解できる。	32	30	50	24	41.3%
7)	各回のレポートの学習範囲と設問の仕方は適当である。	40	44	71	34	57.4%
8)	各科目は基礎基本が大切にされていて、学習したことが身につくやすい。	46	38	62	28	52.9%
9)	科目を選ぶ際、自分の希望を伝えることができる。	41	56	85	37	66.6%
10)	各回のスクーリングの時間割は出席しやすくなっている。	38	33	50	22	43.5%
11)	学習室など自習室は自習(学習)しやすい。	23	22	35	9	27.1%
12)	郵送物や掲示物などの情報提供は適切である。	53	59	85	38	71.4%
13)	この学校では社会のルールや日常生活のマナーが大切にされている。	45	45	52	31	52.6%
14)	学校生活について分からないことがあれば、先生は気軽に相談に応じてくれる。	52	62	85	39	72.3%
15)	学校生活上の先生からの指導は理解できる。	49	62	82	38	70.2%
16)	学校行事はみんなが楽しめるように工夫されている。	46	46	63	28	55.6%
17)	生徒たちは学校行事で積極的に活動している。	38	34	48	25	44.1%
18)	わたしは学校行事に積極的に参加している。	23	28	30	5	26.1%
19)	各部活動の活動内容や成績などについて知っている。	15	14	25	5	17.9%
20)	卒業後の進路決定について、自分に必要な情報が提供されている。	27	23	44	17	33.7%
21)	郵送物に入っている「進路ニュース」や学校の掲示板に貼られている「進路情報」等を読んだり見たりしている。	34	33	48	15	39.5%
25)	ホームページは学校生活に役立っている。	46	55	74	32	62.9%
26)	ホームページの「科目の部屋」は、学習を進めるのに役立っている。	40	46	64	30	54.7%
27)	Google「クラスルーム」は、学習を進めるのに役立っている。	18	33	30	16	29.5%
28)	スマホ等で学習状況の記録を確認して、学習の計画に役立っている。	44	34	54	18	45.6%
29)	学校の施設・設備はきちんと点検され、壊れたところは適切に整備されている。	51	51	87	38	69.0%



令和6年度 学校自己評価アンケート（教員）

学校評価アンケート結果
集計人数 20人

（教員） R6.12実施

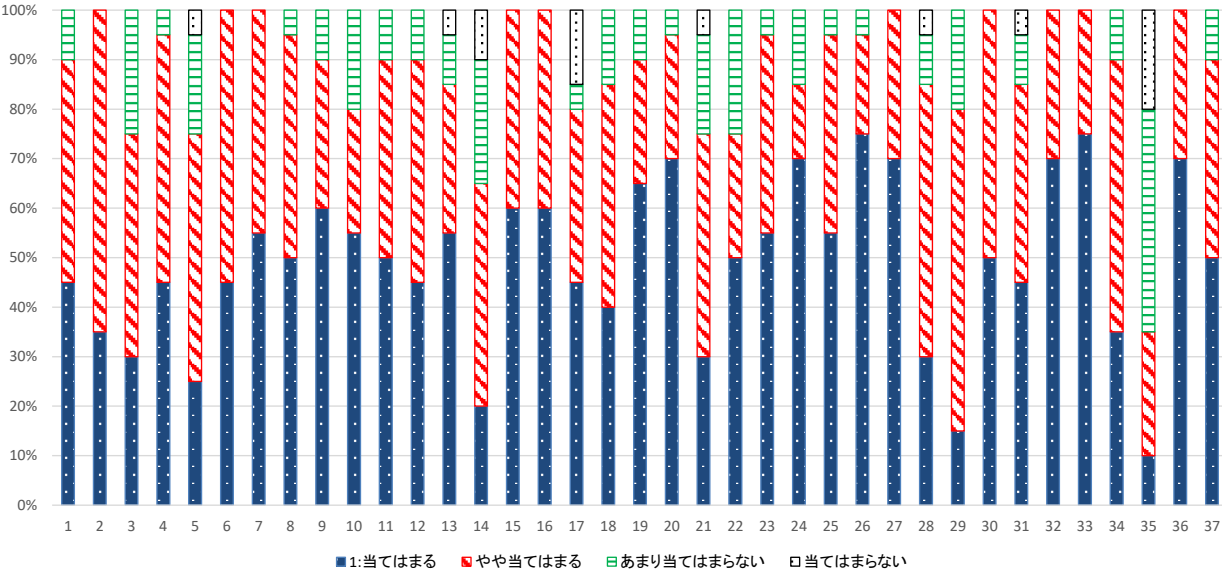
1：当てはまる 2：やや当てはまる 3：あまり当てはまらない 4：当てはまらない

数字は各項目で回答した実人数。

1：当てはまる 2：やや当てはまる 3：あまり当てはまらない 4：当てはまらない

項目	アンケートの内容	1	2	3	4
1)	学校の在り方や教育方針について教員間に共通理解がある。	9	9	2	0
2)	校務分掌上で教員間の協力と連携の協働体制ができています。	7	13	0	0
3)	校内組織の編成は適切で、有効に機能している。	6	9	5	0
4)	保護者や一般の方から学校への理解と協力が得られるように、情報公開を適切に行っている。	9	10	1	0
5)	行政機関や大学などと連携して教育活動の活性化に努めている。	5	10	4	1
6)	学校の方針や具体的な活動について同窓会に知らせ、行事等で連携を図っている。	9	11	0	0
7)	各教科の基礎基本をおさえ、確実に生徒に身につけさせる工夫をしている。	11	9	0	0
8)	自ら学び自ら考える力を養うよう指導している。	10	9	1	0
9)	学習の成果を正しく評価する工夫をしている。	12	6	2	0
10)	指導や評価の方法について、教員間で検討するための機会がある。	11	5	4	0
11)	教育活動が計画的に行われ、その成果と課題が次年度以降に生かされている。	10	8	2	0
12)	通信制での学習方法を生徒にとって分かりやすいものにしていく。	9	9	2	0
13)	生徒の実態に合わせて教育内容を適宜見直している。	11	6	2	1
14)	学習を深めるために放送視聴を勧めている。	4	9	5	2
15)	基礎基本を身につけることができるように、教材・問題の精選をしている。	12	8	0	0
16)	内容理解を助けるよう、分かりやすい添削指導をしている。	12	8	0	0
17)	教育課程の編成にあたって、教員間で十分に話し合いがされている。	9	7	1	3
18)	通信教育の特長を生かす教育課程が編成されている。	8	9	3	0
19)	各回のスクーリングの時間割は適切に編成されている。	13	5	2	0
20)	学習室などで生徒が自習(学習)をしやすい環境を整えている。	14	5	1	0
21)	社会人としての自覚を高め、社会のルールや日常生活のマナーを実践できるように指導している。	6	9	4	1
22)	他人を思いやり自分を大切にすることを養うよう指導している。	10	5	5	0
23)	様々な機会をとらえ、生徒の相談には積極的に応じている。	11	8	1	0
24)	問題行動に対して、教員間で共通理解をもって指導している。	14	3	3	0
25)	多様な生徒に対し個々に応じた適切な対応や指導をしている。	11	8	1	0
26)	学校行事は総括ができています。	15	4	1	0
27)	学校行事を魅力あるものにするために工夫・改善を行っている。	14	6	0	0
28)	コンピュータ・インターネットなど情報機器を有効に活用した教育を実施している。	6	11	2	1
29)	教員のための必要な情報機器は十分に設置されている。	3	13	4	0
30)	ホームページは、生徒が学校生活を送る上で役立っている。	10	10	0	0
31)	ホームページの「科目の部屋」を生徒の学習支援に活用している。	9	8	2	1
32)	クラスルームを生徒の学習支援に活用している。	14	6	0	0
33)	学習状況の記録をスマホ等から確認できるようにして、生徒のスクーリング・レポートの計画に役立っている。	15	5	0	0
34)	学校の施設・設備を点検し、壊れたところは適切に整備している。	7	11	2	0
35)	教室数・施設・設備の規模は教育活動を行うのに支障がない。	2	5	9	4
36)	学校は、公文書の管理を適切に行っている。	14	6	0	0
37)	省エネ・省資源や経費削減に取り組んでいる。	10	8	2	0

教員 回答割合



令和6年度学校評価生徒アンケートへの協力ありがとうございました。集計結果と生徒の皆さんへの回答は次のとおりです。

学校自己評価委員会

アンケートの各項目に、1：当てはまると回答した人数についての結果は、学校ホームページに掲載しています。

教務課

レポート・スクーリング・テストと通信制での学習の三本柱に生徒の皆さんがしっかり取り組もうとされていることが今年も確認できました。スクーリングの時間割に関しては、最低面接時間数の多い科目はどうしても他の科目と時間帯が重なりやすいです。期を通して時間割を見てどの授業に出ようか計画してもらえたら、と思います。残り数週間になって慌てても間に合わないこともあります。レポートの返送については、合格レポートはその回の合格期限までは返送しません。日曜にはレポートBOXへ大量のレポートが提出され、またスクーリングで先生方も忙しいため、再提出の場合でも返送が遅くなってしまうこともあります。郵便は早くても翌々日に到着します。ご理解・ご協力をお願いします。テストに向けて、対策プリントを作ってほしいという声も多数寄せられています。科目によって、対策プリント、Classroom、レポート自体と様々ですが、テストに向けてはこういう勉強をしておきましょう、というメッセージは科目担当者からあると思います。(操山通信にも載ります。) 情報を上手にキャッチして活かしていきましょう。

生徒課

学校生活全般に関わる質問では、肯定的な意見が多数を占めました。一方で、学習室や授業での私語や校内でのマナーについてご意見を頂きました。生徒の皆さんが、安心・安全で落ち着いた雰囲気で学校生活を送ることができるよう努めていきます。生徒の皆さんも協力をお願いします。生徒会行事では、生徒会執行部の主体的な企画・運営により円滑に実施することができ、多くの生徒の皆さんに参加していただきました。来年度も引き続き、有意義な学校行事にしていきたいと思いますので、皆さんの参加をお待ちしています。

進路指導課

進路に関する意見をありがとうございました。面談を試みようかな…という気持ちに応える「相談しやすい仕組み」を来年度、整えていきます。受講相談で配布した進路意識調査をきっかけに、ぜひ年次の先生や進路の先生と面談していきましょう。

卒業後の進路決定の参考になる情報は、学習室前・職員室前の進路指導課掲示板や、操山通信などの郵送物に同封する「進路ニュース」でお知らせしています。特に卒業年次ではClassroomでの情報発信も進めています。アカウント登録が上手くいっていない場合は、年次担任まで申し出てくださいね。

※令和7年度卒業予定者で就職希望の人は、5月4日(日)の進路HRで就職ガイダンスに参加しましょう。

保健委員会

今年度の健康診断も、多くの生徒の皆さんがきちんと受診し、皆さんの「健康」に対する意識が年々高まっていると感じています。自分自身の健康を自分自身で管理していくことは、これからの日常生活、学校生活はもちろん、卒業後に生活していくうえでも非常に重要です。これからも、現在だけでなく未来の自分のためにも是非、継続してもらいたいと思います。また、保健だよりなどでも「健康・安全」に関する情報を発信していこうと思います。積極的に活用してみてください。

特別活動委員会

特別活動の各期の計画については、操山通信第1号(前期)と第3号(後期)に一覧を掲載しています。校外研修、芸術鑑賞、スポーツ祭なども、今まで以上によいものとなるよう工夫、改善をしています。「こうすればもっと楽しくなる」というアイデアがあれば、是非お知らせください。皆さんと一緒によりよい行事にしていきたいと思います。

教育相談室

教育相談室では、安心して高校生活を送れるよう、皆さんをサポートしていきたいと思います。「相談室」の部屋はありませんが、気軽に声をかけてください。また、次年度も年7回、スクールカウンセラーによる思春期サポート事業を行います。校内掲示でも案内していますので、ご利用ください。

I C T 室

皆さんの回答を参考に、ホームページやGoogleクラスルームの内容の充実や活用を進めていきたいと思っています。HPの「生徒専用」ページには、『操山通信』、『学習サポートブック』、『学習の手引』や「科目の部屋」など様々な情報が掲載されています。これ以外にも載せて欲しい情報があれば遠慮なく意見を寄せてください。今年度からGoogleクラスルームアプリで自分の学習状況を確認できるようになっています。レポートやスクーリングの進捗状況を定期的に確認するようにしてください。先生個人との直接のメールのやり取りは県のルールにより禁止されていますので、分からないところやパスワード忘れなどは、登校した時にでも聞きに来てください。(電話ではスマホの画面も見えないのでサポートしづらいため。)

いじめ対策委員会

自分の言葉やふるまいについて、相手がどのように思うかをよく考えましょう。特に自分が意図しない、軽はずみな言動により、思いがけないトラブルも起こるので、十分に配慮しましょう。困っている人を見かけた人は教員に声をかけてください。誰もが安心して学習に取り組める「操山高校通信制」を一緒に作っていきましょう。

事務室

学校の施設・設備の整備については、皆さんが快適に学校生活を送ることができるよう努めていきます。学習環境において、不備やお困りのことがあれば教えてください。